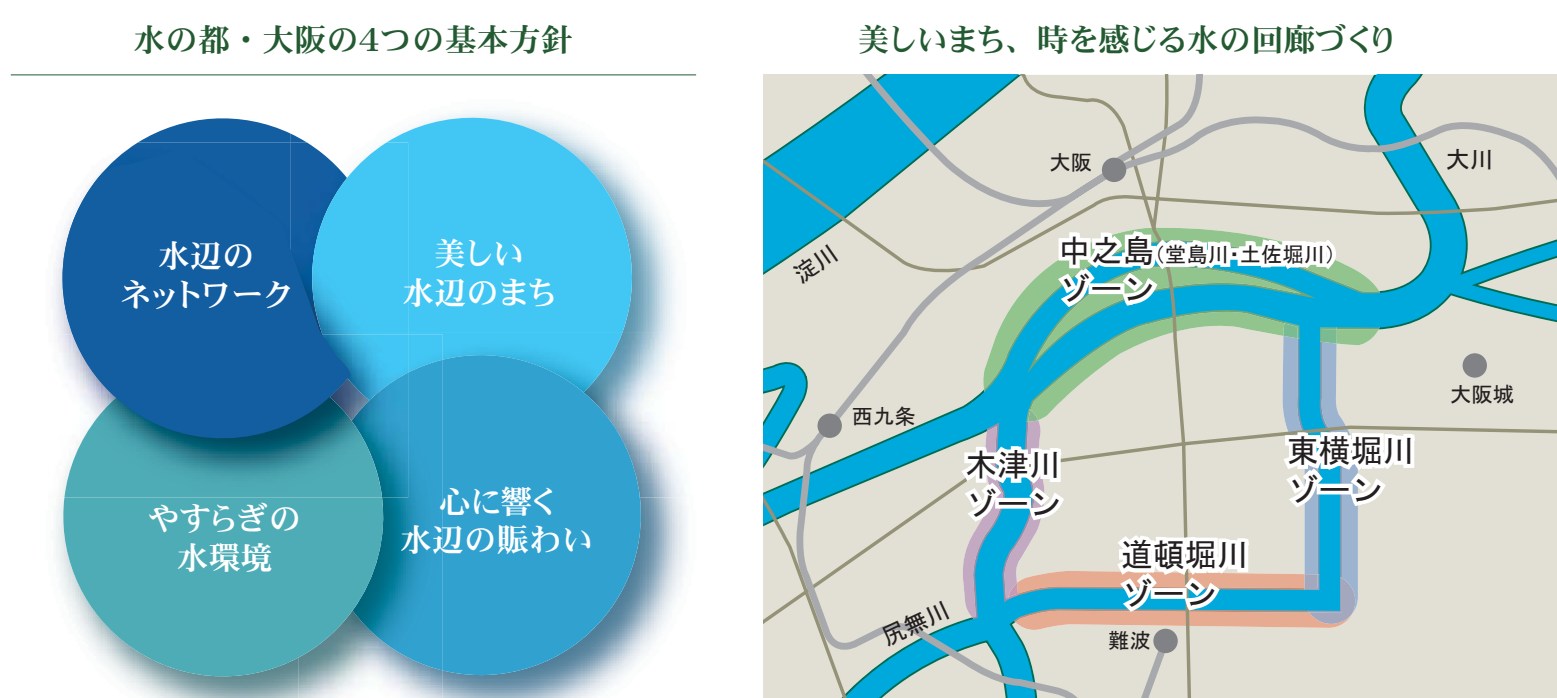


「水の都・大阪」再生構想

「水の都・大阪」の再生は、古来より水都として栄えてきた大阪の歴史が育んできた歴史的・文化的資源を活用し、都心を囲む4つの川からなる世界でも稀な「水の回廊」を重点的に整備することにより、大阪誕生の源である水辺から、都心再生を図っていこうとするプロジェクトです。



水とみどりが活きる国際アイランドの創出

中之島ゾーン
(堂島川・土佐堀川)

●防災性向上や川とまちとの一体化を図る水辺整備

船場都心うるおいと楽しみ環境の創出

東横堀川ゾーン

●都心居住・就業環境を魅力的なものとする水辺空間整備

水都・大阪 水の回廊

●緑豊かな水辺環境と賑わいづくりに向けた環境整備

木津川ゾーン

活気とうるおい・文化交流環境の創出

道頓堀川ゾーン

●川とまちを一体化し、賑わいの基盤となる遊歩道整備

道頓堀

なにわの水辺劇場の創出

出典：「水の都大阪再生構想 輝け水の都大阪」（水の都大阪再生協議会）

国際会議の開催・参加

ICAPシンボルマーク

ICAP（国際水都首長会議）

International Conference of Aquapolises

ICAP（国際水都首長会議）は、大阪市の市制100周年記念行事の一環として提唱された国際会議です。

この会議は、自然と人間が調和し、水と緑の保全による快適な生活を目指し、＜水辺＞と＜緑＞空間の再生、創造による美しい都市づくりをテーマとし、水と緑とのかかわり合いの中から独自の風土と歴史を形成してきた世界の都市の首長が一堂に会し、そのシティ・アイデンティティを互いに尊重しながら、21世紀文明を先導する魅力ある都市の再創造に向けて、都市相互間で市民、専門家、行政の多様な交流が展開される、「水と緑」に関する国際会議です。

■第四回 大阪会場での風景

平成2年(1990)	第1回	大阪(日本)
平成5年(1993)	第2回	上海(中国)
平成9年(1997)	第3回	ピレウス(ギリシャ)
平成15年(2003)	第4回	大阪(日本)
第5回は釜山(韓国)にて開催予定		

第3回世界水フォーラム
ロゴマーク

世界水フォーラム

World Water Council World Water Forum

1992年6月の地球サミット以降、21世紀の持続可能な開発には、「水資源管理」が重要な課題であるという認識が国際社会の中で高まっています。このため、1996年には、地球規模で深刻化しつつある水資源問題の解決策を追求するために、世界的な水政策のシンクタンクとしてWorld Water Council（WWC：世界水会議）が設立されました。

「世界水フォーラム」は、世界の重大な水問題を討議するために、WWCが主催する会議で、3年に一度、3月22日の「世界水の日」を含む時期に開催されています。

左■平成15年(2003)3月18日大阪会場のオープニング風景

右■水のEXPOでの大阪市ブース／平成15年(2003)3月18～22日 インテックス大阪

平成9年(1997)	第1回会議	マラケシュ(モロッコ)
平成12年(2000)	第2回会議	ハーグ(オランダ)
平成15年(2003)	第3回会議	京都を中心に滋賀・大阪を結ぶ琵琶湖・淀川流域で開催

情報の発信・関係各国との連携